

事業所名 放課後等デイサービス ギフトがらす

支援プログラム

作成日 2025年 2月 19日

法人（事業所）理念	ギフトがらすにおいて実施する指定放課後等デイサービスの適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定障害児通所支援の円滑な運営管理を図るとともに、障害児及び障害児の保護者の立場に立った適切な指定障害児通所支援の提供を確保することを目的とする		
支援方針	事業所は、障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう、障害児等の身体及び精神の状況並びに、その置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。指定障害児通所支援の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町、他の指定障害福祉サービス事業者、指定相談支援事業者、指定障害者支援施設その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努める。		
営業時間	13時30分から17時30分まで 長期休み 10時から12時、13時から17時まで	送迎実施の有無	あり なし ・基本、学童へのお迎えとさせていただきます ・規定エリア内であれば送迎いたします
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	その日来所してきた子どもたちの表情や状態などの変化を察知できるよう常に心掛け、必要に応じた声掛けや個別にて対応をしていく 来所した際に荷物棚（ランドセル・手荷物・水筒等）入れのスペースを各自に備けて整理整頓への意識を習慣化していく	
	運動・感覚	活動の中に、粗大運動を取り入れた内容を設定していき、苦手意識のある動作が軽減、克服でき自信となることで意欲を持って物事に取り組めるようサポートしていく 活動の説明を聞く（三角座り等）・帰りの挨拶（荷物を持っての静止）をする場面等での姿勢保持を意識する声掛けを継続して行っていく	
	認知・行動	来所から終了までの間で、自由時間を含み全体活動終了まで、その日の流れを分かりやすく表記提示し、口頭説明や視覚的表示（指示）することで、見通しを持ち動きやすくスムーズにすすめられるようにしていく 切り替えが必要な時に声を掛けるにプラスしてタイマー時計（音）を用いて習慣付けていく	
	言語 コミュニケーション	活動・療育を通して異年齢の子どもたちが多数居る中で、どのように関係性を築いていけるかを含め、自分自身の思いを上手く表出できるよう不安があれば介入していきながら、安心して言語化できるようによりよい環境づくりを整えていく	
	人間関係 社会性	小学生低学年・小学生高学年～中学生を中心にグループを設定し、外部との接点を増やしコミュニケーションから、遊び・マナー・ルールといった家族が居ない場での、体験・経験することを実際に感じることで、社会へ出ていく為のステップとして学びの場の機会を設定していく	
家族支援	家庭での出来事、学校での出来事など、子どもたちの様子を共有する中で、不安や困り感に対し、必要に応じて面談を行っていく	移行支援	関係機関、学校との情報交換を行い、子どもたちや保護者の悩みや不安が軽減できるよう取り組んでいく
地域支援・地域連携	福山市児童発達支援連絡協議会、放課後等デイサービス協議会などに参加し情報共有・支援の向上に努める	職員の質の向上	組織全体で外部講師による月一回程度の勉強会や内部研修を通して、学びの時間を設定しスキルアップ・質の向上を計っています
主な行事等	行事として：グループ全体で年間スケジュールの中に「運動会」「もちつき」「お祭り」など3大イベントを取り入れています。その他：運動教室・球技教室・保護者会など 事業所として：県内外へのお出かけイベント（お食事・買い物等）・ボウリング大会 その他		